

なかつか 亮



高齢者医療 入院時負担軽減 条例 品川区議会『否決』

千代田、新宿、中野で既にスタート 品川区でも早く実施を

7月7日に終了した第2回品川区議会定例会。共産党は高齢者の入院時における医療費負担を軽減するための条例を議員提案しました。採決の結果は、他会派の賛同が得られず、共産党のみの賛成で否決となりました。

この制度は千代田、新宿、中野区で既に実施。高齢者に喜ばれています。子どもたちの医療費無料化に続き、今度は高齢者の医療費負担軽減を。引き続き実現目指し頑張ります。

くらし奪う

医療費負担

Aさん88歳は昨年11月に自宅で転倒し、大腿骨骨折で入院。あわせて脳梗塞をおこし40日間の入院となりました。

入院費用は合計14万余。その内訳は診療費8万8800円。食事代1万9500円。その他差額ベッド代等が3万2130円。家族の人は「無事に退院出来てホッとしたが、予想外の出費に頭が痛い。」

母の在宅介護サービスの利用料も安くないし、兄弟の誰かが負担するにしても、みんな生活の余裕がない」と話します。



家族の誰かが具合が悪くなった途端に、生活設計が成り立たなくなる。一人暮らし高齢者の不安は、さらに深刻です。

高齢者の生活は厳しさを増しています。わずかな年金も減り続け、介護保険料、医療保険料は容赦なく年金天引き。昨年から住民税も。その上、あの後期高齢者医療制度…。多くの高齢者からは「早く死ねと言うのか」との声があがっています。

誰もが、いくつになっても、安心して暮らすことができる社会を作ることが政治の使命です。裏へ

共産党は「子どもに続いて高齢者医療も無料化に」と高齢者の負担軽減を要求。しかし、濱野区長は「適当ではない」とし一貫して実施を拒んできました。

ならばと共産党は議員提案として区議会に「高齢者医療入院時負担軽減条例」(内容:65歳以上。入院時に月1万円を軽減)を提案しました。

議案は6月28日の厚生委員会で審査され採決。7日の本会議では、なかつか亮が賛成討論し、その後採決。結果は、残念ながら他会派の賛同が得られず、共産党のみの賛成で否決となりました。

厚生委員会にお

る各会派の反対理由は「所得制限がない。公平性が担保されていない(自民区議)」。「国の制度としてでないか。こういった形で考えていきたい(公明区議)」。「平等とか公平と言うのがアリバイ的に使われているような気がする(民主区議)」と言うものです。



品川区も実施を

私は本会議の賛成討論で「東京では、千代田区、新宿区、中野区で既に同様の制度が実施。日の出町では、昨年の4月から75歳以上の医療費を無料にした。品川区も高齢者の医療費負担軽減に足を踏

み出すべき。入院時に高齢者への紙おむつ代の負担軽減を実施していない区は、品川区をふくめ、たったの2区。高齢者の入院時負担軽減策は当然のこと。医療費助成制度は、子どもの次は今度は高齢者を」と主張。必要な予算については「年間ベースで2億3千円。財源は品川区の十分すぎる積立基金に対し、新たに積み増す財政調整積立基金の運用で可能です」と述べました。

高齢者の医療費負担軽減策を実施する自治体も広がっています。引き続き、品川区での実施を求めてがんばります。

なかつか亮

区議会での賛否

第二回定例会では20件の議案(区長提案19件・議員提案1件)が審査。共産党は、区民税改正や小中一貫校建設の2件に反対。その他18件に賛成。自民、公明、民主、無2会派、生活者ネットは区長提案19件全てに賛成し、共産党提案の議員提案1件に反対しました。共産党は、簡単に言えば住民の暮らしを支える提案等には賛成。その逆は反対です。今後とも、暮らし・福祉こそ最優先の品川区政を求めます。

催物
あんない

しながわ 平和のための 戦争展

戦後65年 非核平和都市宣言25年

戦争をする国にさせないために

日時: 8月12日(木)、13日(金)

14日(土)、15日(日)

時間: 10時~19時30分(最終日17時)

会場: 品川区民ギャラリー 入場無料

(大井町駅前 イトーヨーカ堂8階)

主催: 同実行委員会 (西条明子、扇谷道子)

今月の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

7月30日(金) 午後6時~8時 場所: 日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼: 区議控室 5742-6818 夜: 事務所 3773-3231